

令和3年度 三郷区地域協議会
公民館整備班会議
次 第

(会 議) 日時：令和4年1月13日(木) 午後6時30分
会場：三郷地区公民館 集会室

1 開会

2 協議

(1) 意見書の作成について

3 閉会

(案)

令和4年 月 日

上越市長 中川 幹太 様

三郷区地域協議会

会長 竹内 浩行

三郷地区公民館整備に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、三郷地区公民館の整備について自主的に審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので提出いたします。

記

昭和55年に建設された上越市三郷地区公民館（天野原新田75-3）は、市が平成23年度に行った建物の耐震診断で耐震強度不足と判定されました。その後、市は令和2年度に雨漏り箇所の改修を行いました。利用者の生命の危険に及ぶかもしれない耐震強度不足への対応が行われておりません。さらにトイレが男女共用であることや和室・集会室の照明設備が暗いことなど、施設全体の老朽化により利用者が安全かつ快適に安心して利用しにくい状況であります。

また、この件は、三郷地区町内会長協議会と三郷まちづくり振興会の連名で、毎年要望書が提出されていますが、市の回答は「公民館の整備計画を検討している段階」として、具体的な改善策が地域にも示されておられません。

よって、当地域協議会として別紙のとおり調査・審議を重ねた結果、男女共用のトイレの解消など、施設設備の早期改善を要望するとともに、将来的には、子どもから高齢者まで気軽に集まることができる地域コミュニティーの場として、三郷地区公民館を新築されることをご検討くださるようお願いいたします。

【施設の利用状況】

上越市三郷地区公民館は、かつての三郷村役場がおかれていた場所に、昭和55年木造2階で建設され、隣接している三郷小学校や三郷保育園とともに、地域の中心地に立地する大切な施設として、長年地域住民から親しまれています。

三郷区の人口が約1,300人である中、コロナ禍以前の令和元年度の利用者数は、年間4,766人であり、軽運動、料理教室、趣味活動などに取り組む社会教育施設としての機能だけでなく、地域住民による会合、高齢者支援事業、地域の健康・保健衛生に関する講座など、幅広い用途で利用できる区内唯一の公の集会施設となっています。

【地域協議会における審議経過】

当地域協議会では、この施設が建設から41年を経過し、老朽化や耐震強度不足などの問題で利用者が安全かつ快適に安心して利用できない現状を捉え、令和3年2月12日から「三郷地区公民館の整備」を自主的審議事項として審議を開始し、以下のとおり現状把握に努め、審議を進めてきました。

令和3年7月25日：三郷地区公民館と同規模の高士地区公民館及び合併前上越市で直近に建設された八千浦地区公民館を視察し、各公民館建設に至った経過や利用状況などを調査しました。

令和3年9月14日：市担当課から「三郷地区公民館の改修計画について」説明を聞き、今後の市の考えを把握しました。

令和3年9月17日

～9月29日：三郷地区公民館を利用している15団体を対象にしたアンケート調査を実施し、施設の現状、不具合、整備の在り方等について、利用者の声を調査しました。

(アンケートの結果概要は次頁)

令和3年10月14日：委員による施設の不具合箇所の確認を行いました。

令和3年12月13日：三郷地区町内会長協議会（町内会長11人）との意見交換会を開催し、これまでの取組内容の報告と三郷地区公民館整備に関する意見交換を行いました。

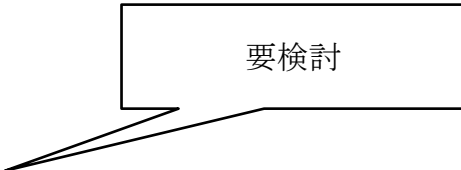
【利用団体を対象にしたアンケート結果概要】

アンケート調査の概要

(主な意見)

- ・三郷地区公民館は公民館主事が常駐しているため気軽に集まりやすく、親しみやすい場所であるとともに研修や住民の集会には欠かせない必要な場所である
- ・男女共用のトイレであることや和室の照明が暗く会議に支障を来していること、公民館施設の老朽化に伴い地域活動の停滞が危惧される。
- ・子どもから高齢者まで気軽に集まることができる地域コミュニティーの場として、活動できる施設や1階に広い部屋（集会室）がある施設を望むといった意見もありました。

【地域協議会としてのまとめ】



要検討

男女共用のトイレ



洋式・和式トイレ



和室照明



ロビー照明



集会室照明



階段下照明



和室のささくれた畳と剥がれた壁



集会室の剥がれた壁

